

2015年度入学者（2017年度3年次編入者）で2019年3月に卒業予定のみなさんへ

2019年3月の卒業式で配付する「ディプロマ・サブリメント」に関して、以下3点、リマインドとお知らせです。

1. TUFSS Record 上における卒業論文・卒業研究題目の入力に関してのリマインド

2019年1月9日（水）までに、**必ず Moodle にアクセスし**、TUFSS Record 上で**日本語と英語の両方で卒業論文・卒業研究題目を入力**してください。期日までに入力されていない場合、「ディプロマ・サブリメント」上では卒業論文・卒業研究を書いていないのと同じ表示となりますので、くれぐれもご注意ください。

2. 卒業後の TUFSS Record へのアクセスに関する注意点

卒業後は、TUFSS Record に一切アクセスできなくなります。そのため、卒業前までに各自で必ず「学修活動履歴書」のデータ（PDF形式）をダウンロードし、保存して下さい。

3. 専攻言語の言語力判定（再評価）の機会に関するお知らせ

現状では「学修活動履歴書」および「ディプロマ・サブリメント」には専攻言語の言語力につき、2年次終了時の判定が表示されている場合がほとんどです。しかし、みなさんからその後上がった能力を表示できるよう再評価に関する要望が多く寄せられました。

そこで、卒業予定者のみなさんのなかで希望する場合は、秋学期の成績判定時に間に合うよう、専攻語の教員に再評価を依頼してください。

実施方法は、地域言語 A-III の成績と連動して評価する、独自に試験を行うなど、専攻語ごとに方法が異なりますので、判定を希望する方は、専攻語の先生に個別に連絡し、実施方法など確認して下さい。

本件に関するお問い合わせ先：tufssrecord@tufs.ac.jp
(担当：世界言語社会教育センター・布川)

[TUFSS Record 学びの成果を可視化](https://tufspods.net/) (https://tufspods.net/)